



  
*Mellow Goddess*  
*for adult only*






# *Mellow Goddess*

*#1 The vestige of memory*



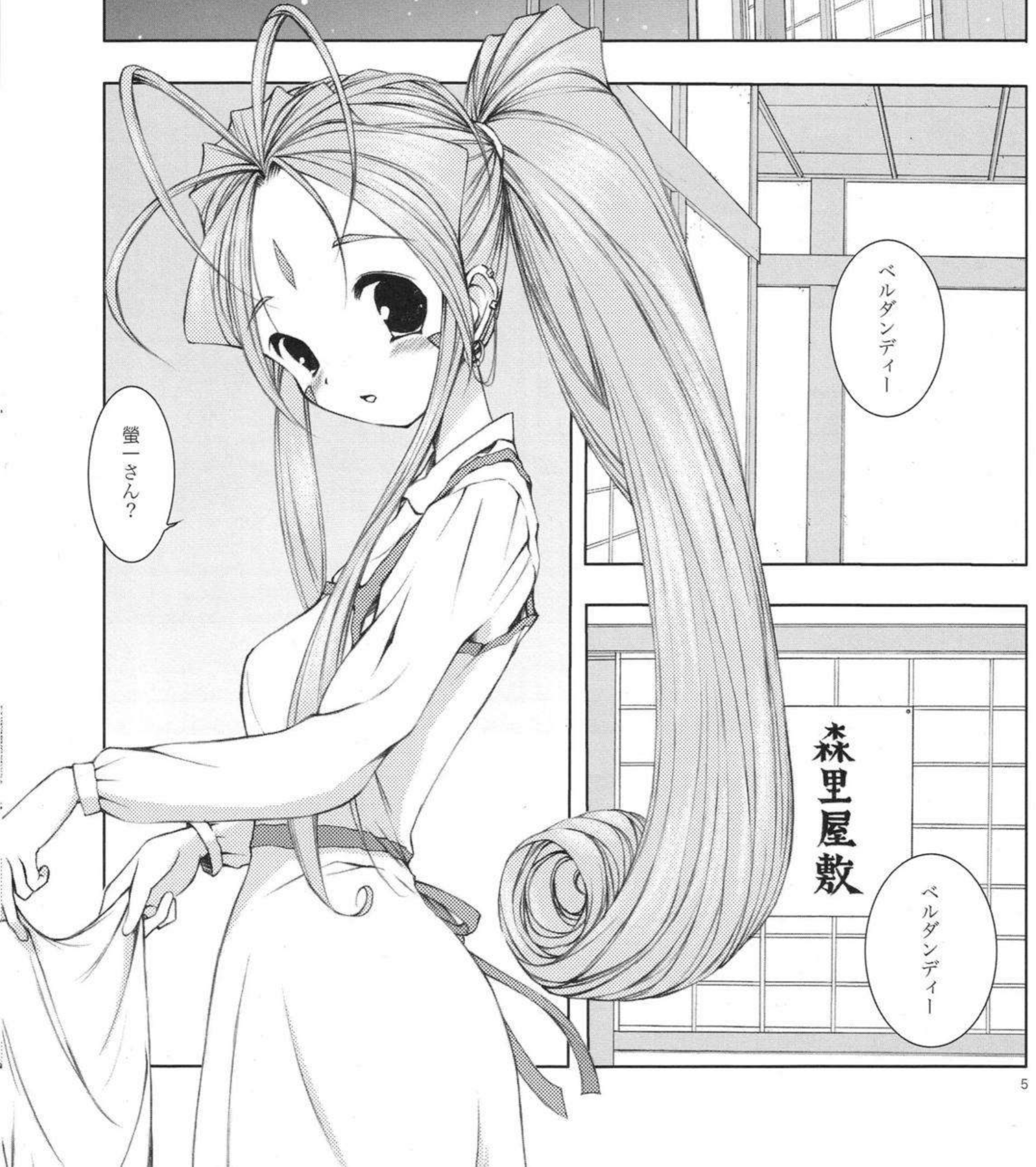
*Artron presents Vol.04*





こんにちは、shimaです。  
この度はお手に取って頂きありがとうございます。  
女神さま語りはあとがきに譲ることにして、まずはお楽しみいただけると嬉しいです。





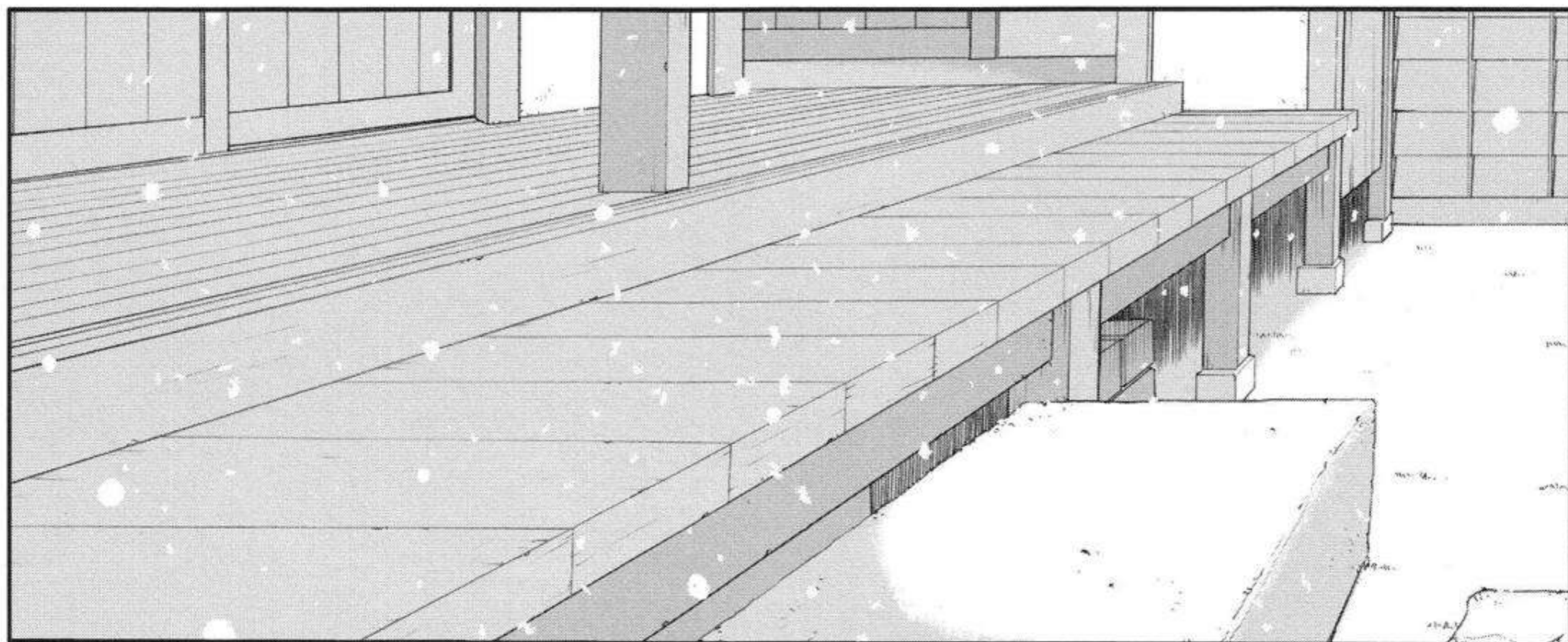
螢一さん？

ベルダンディー

森里屋敷

ベルダンディー











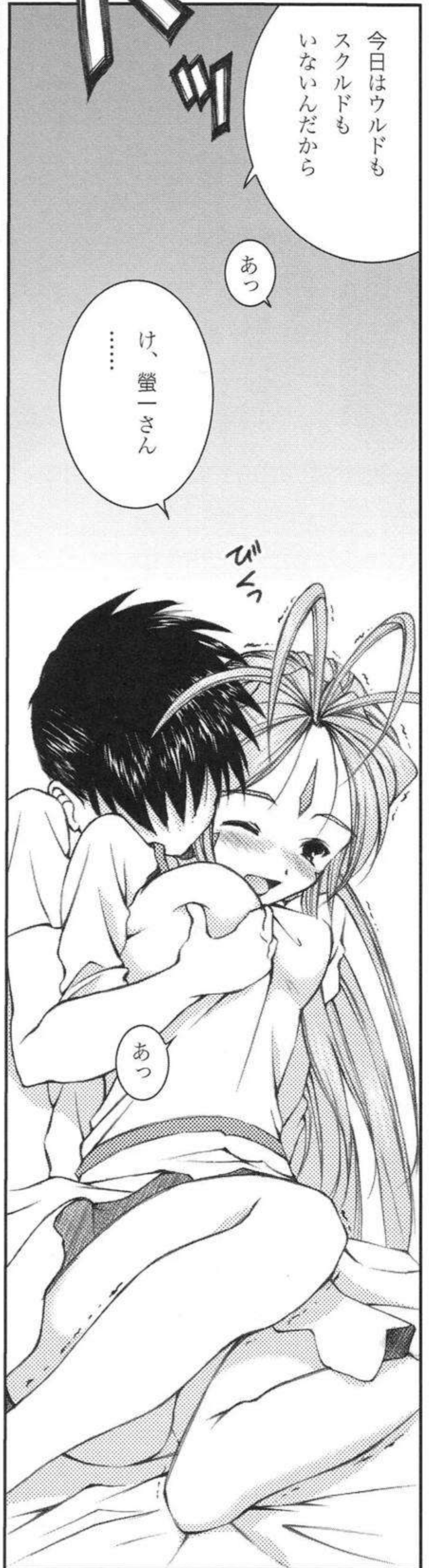


……どうして  
螢一さん……

ベルダンディーの  
肌……温もり

ドキ

ドキ



今日はウルドも  
スクルドも  
いないんだから

あっ

……  
け、螢一さん

びん

あっ

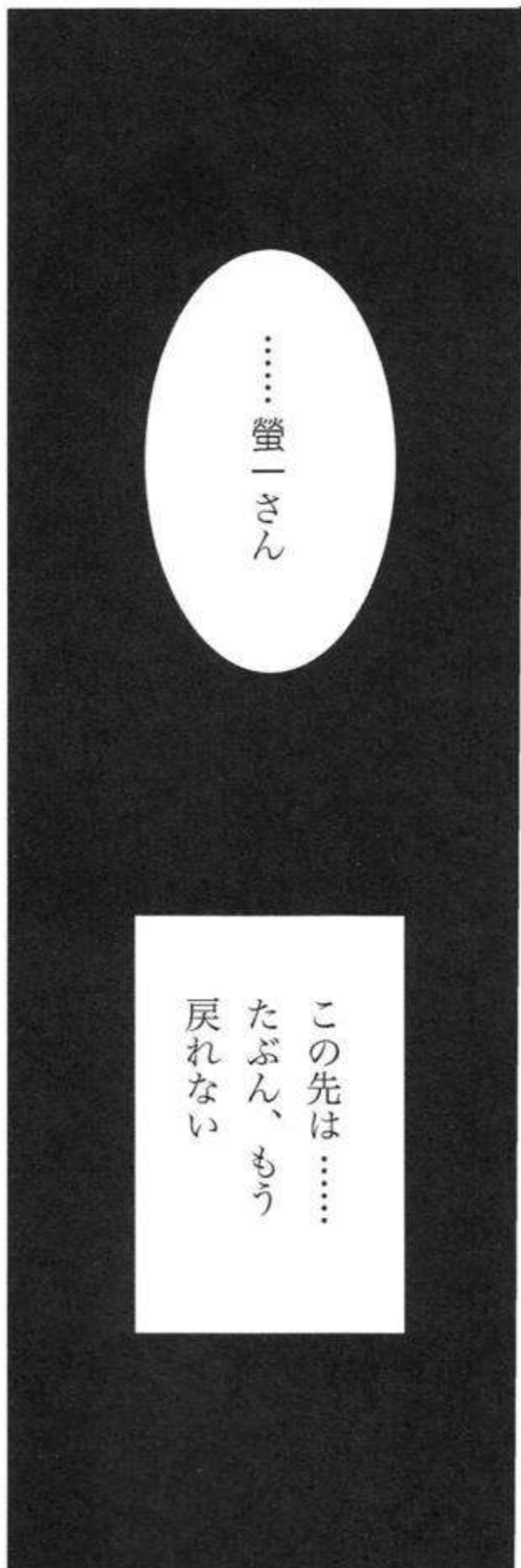
もうずっとこの時を  
待ってたんだ  
この瞬間を

はっ

はっ

ドキ

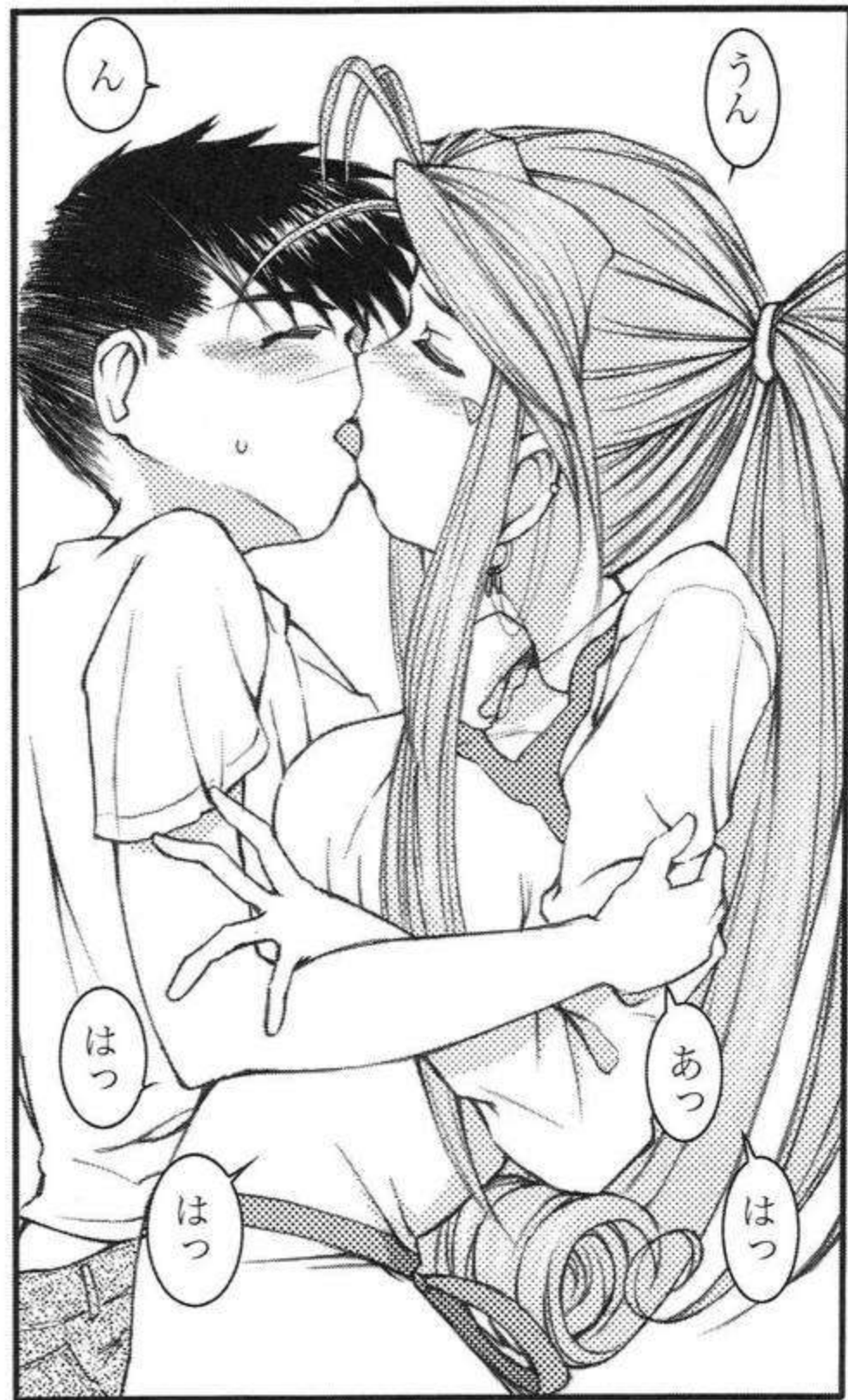
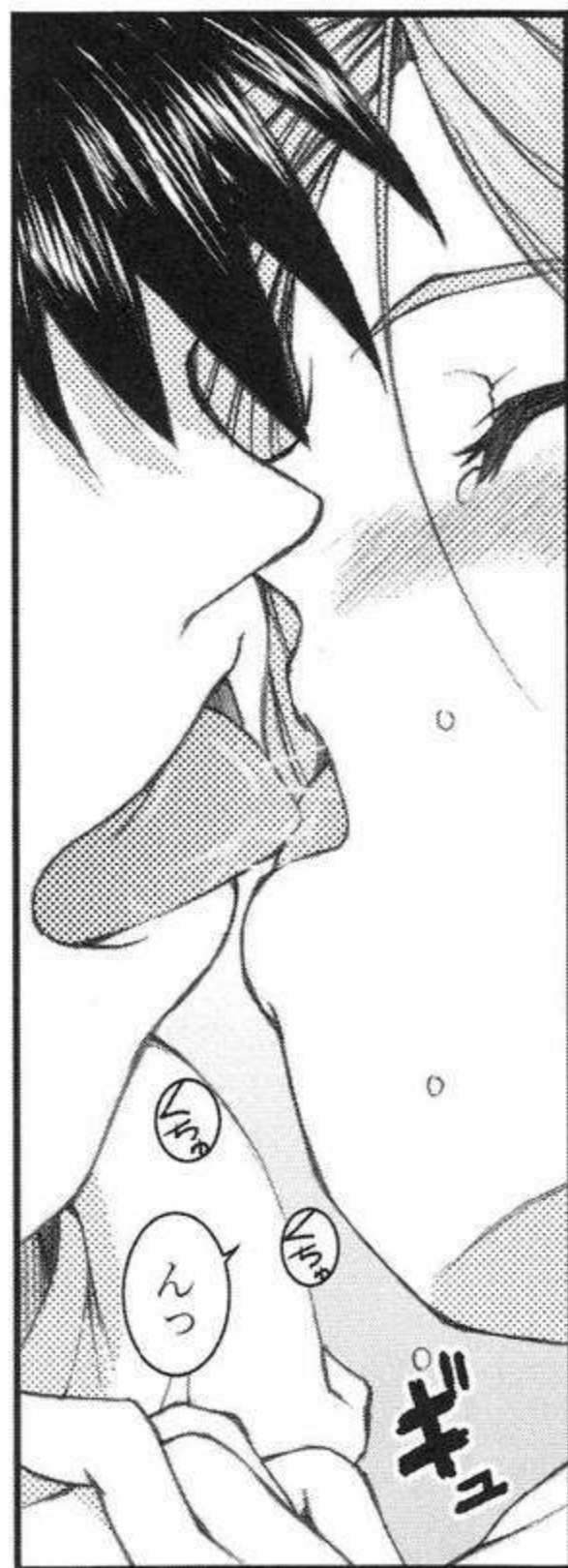
ドキ



……螢一さん

この先は……  
たぶん、もう  
戻れない







本当のことを言えば  
動揺していた……

この涙の意味……  
ベルダンデーの  
本当の気持ち……

はっ

はっ

はっ

ごめんなさい  
……わたし  
驚いてしまった

……突然だったので  
わたし……

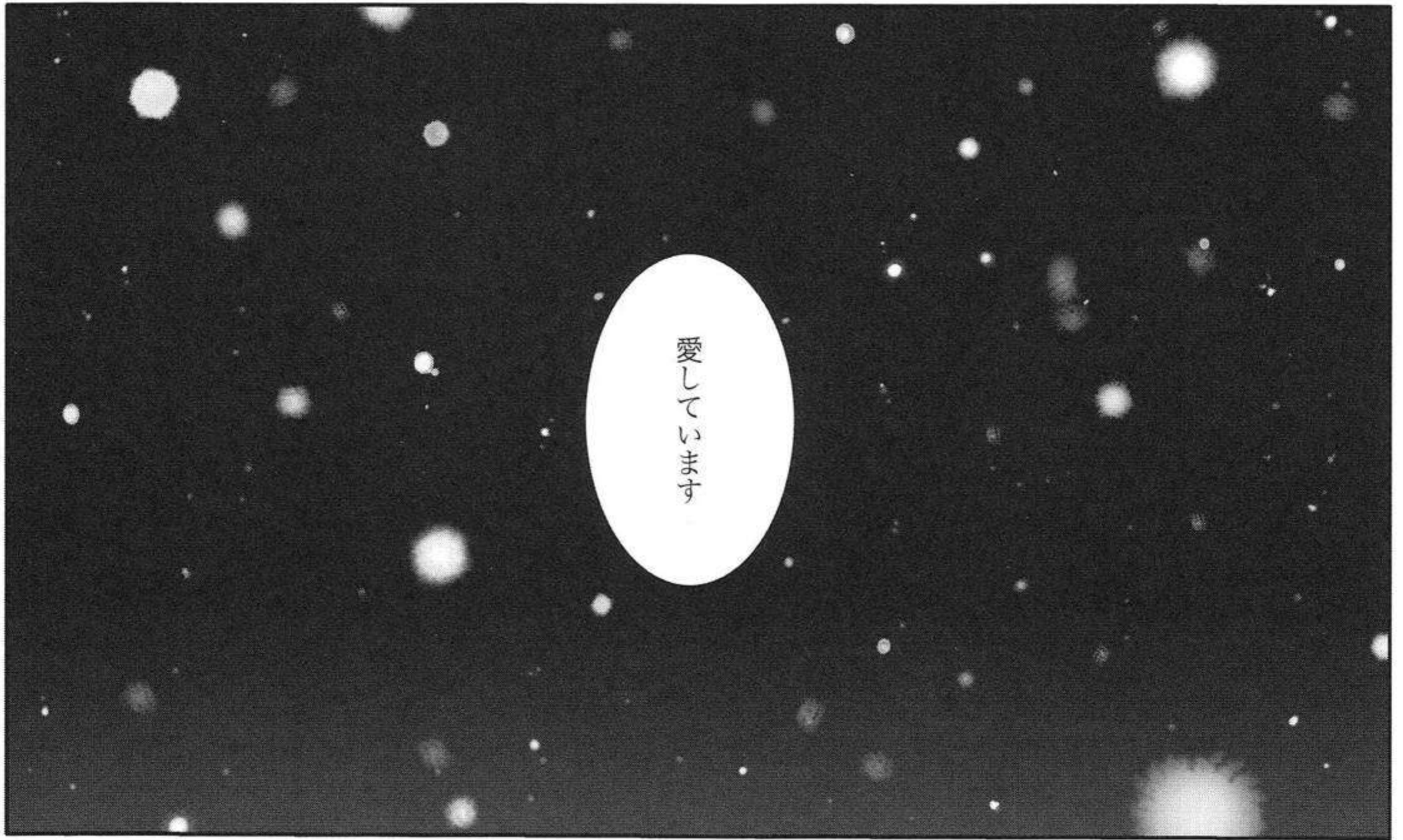
僕は……  
何もわかっていないの  
かもしれない

いいんだ  
ベルダンデー

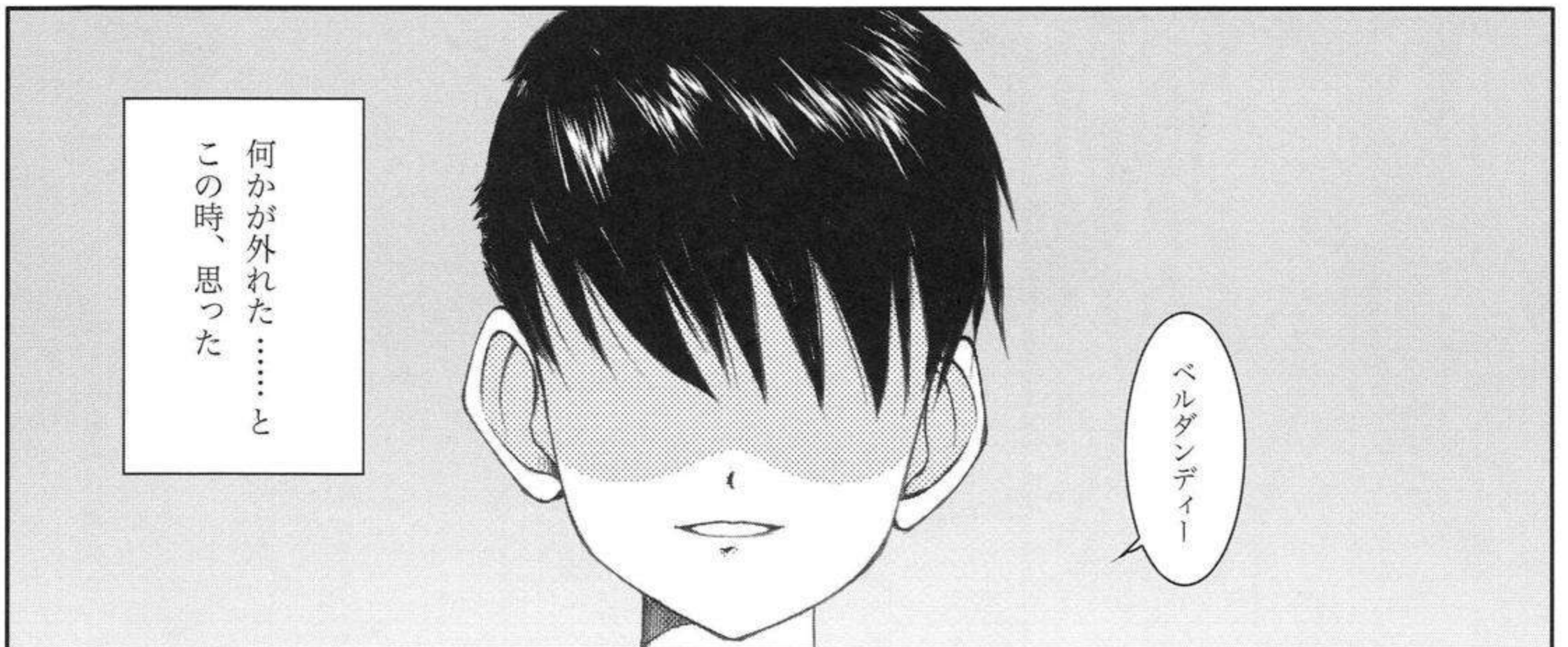




螢一さん



愛しています



何かが外れた……と  
この時、思った

ベルダンディー













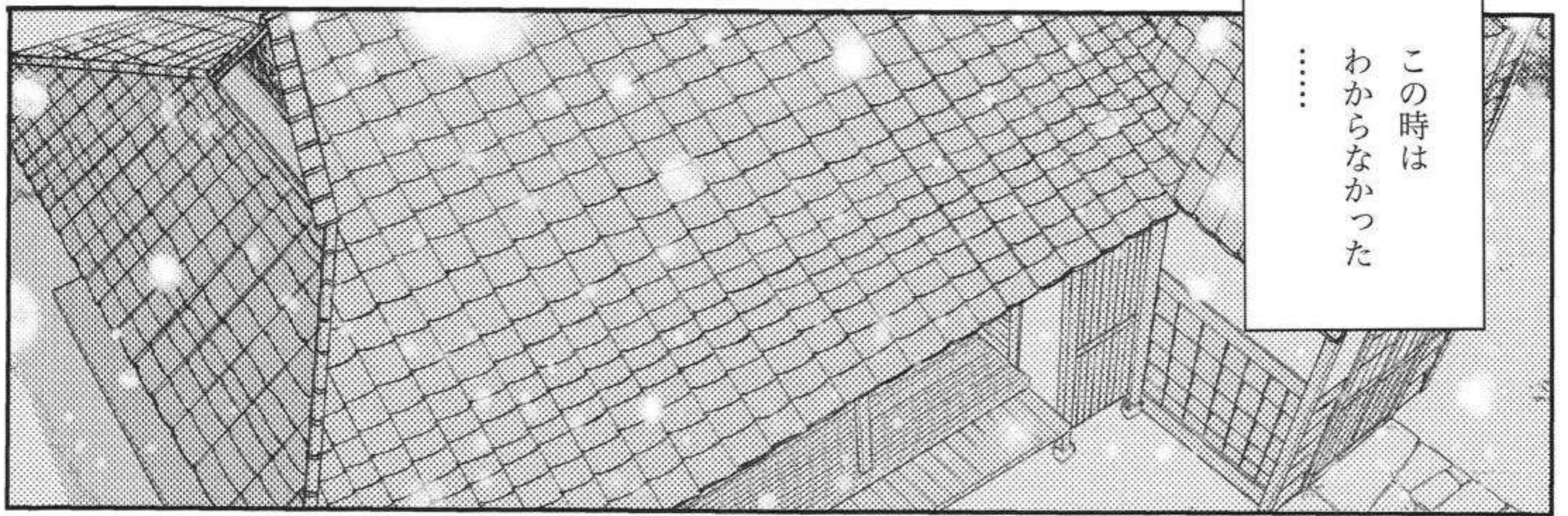
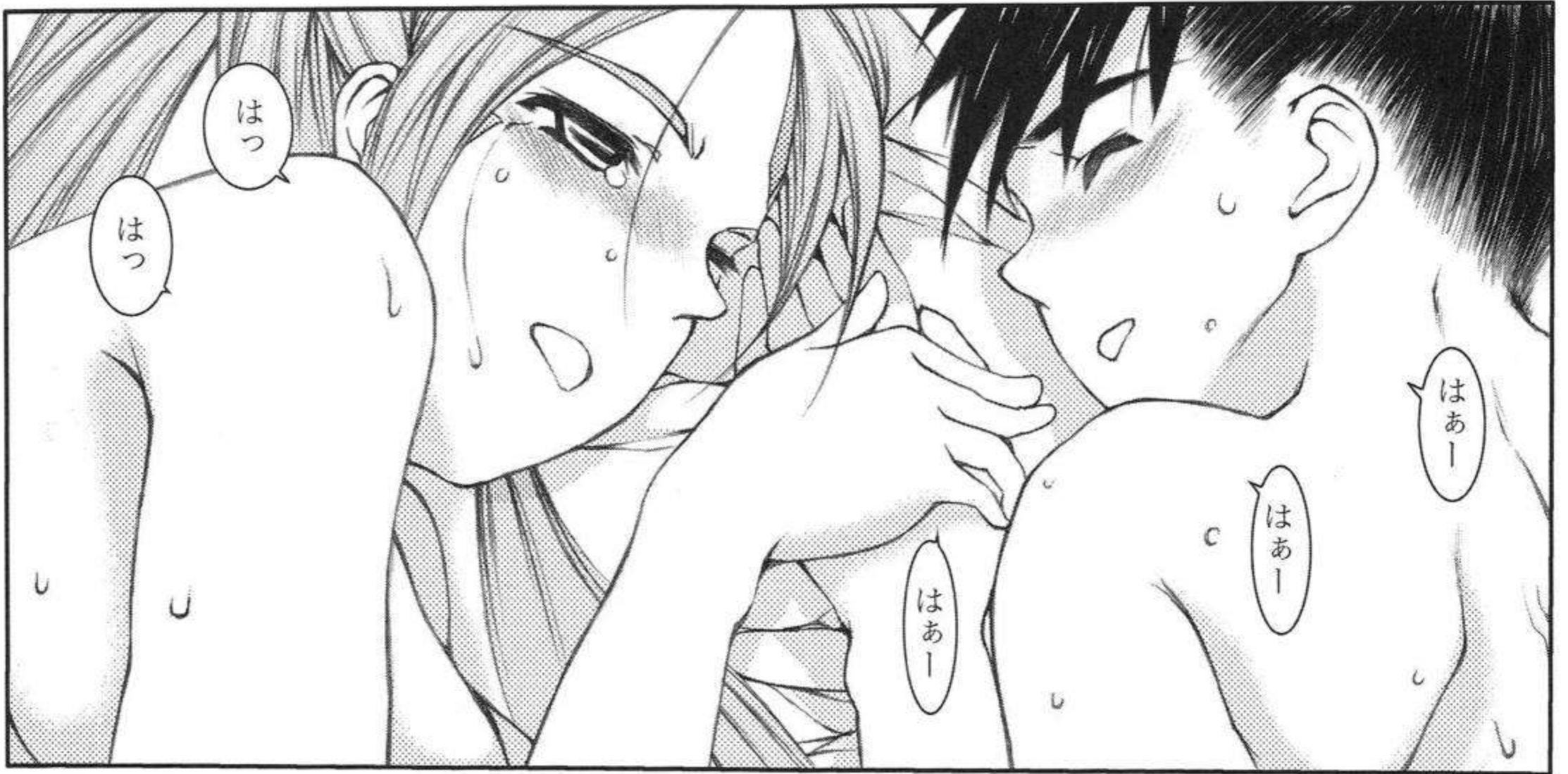
















## あとがき

『女神さま』は僕が高校生の頃からのファンで、その後友達と合同で同人誌を出したのが僕の同人誌デビューでもあります。それからしばらくは活動はやってなかったんですが、ARTRONの活動を始めて、また今年ようやく描く事にしました。

大切な世界をそのまま描く事の出来ない僕だけと、普通の描く事もしたくなくて、今回はいろいろ裏設定みたいなものを仕掛けとして入れました。

その仕組みはまだ今回は機能していないけれど、これからまた少しずつ描き進んでいく中で最終的には動いてくれると思っています。一コマ描くごとにたどって止まるとなるとなるとなるとまた一コマ。

たぶん僕には才能なんてものを神様はくれなかったんだと思いながら、安物のドリンク剤を飲みながら、明日もまた一コマ一コマ描いていくんだと思います。

いつ終わるのが僕にもわかりませんが、どうぞよろしく。

最後になりましたが、この本は『あとリエ・ヤン』のヤン君、そしてひろぼん、そしてそしてこれを読んでいただいた皆さんががいなければ描けませんでした。スペシャルサンクス！

2005.12  
SHIMA



#1 *The vestige of memory*

発行：ARTRON

発行日：2005.12.30

著者：shima

印刷：コーシン出版

URL：<http://www.h5.dion.ne.jp/~artron/>

E-MAIL：[artron@m4.dion.ne.jp](mailto:artron@m4.dion.ne.jp)



*Artron presents*

*Vol.04*

